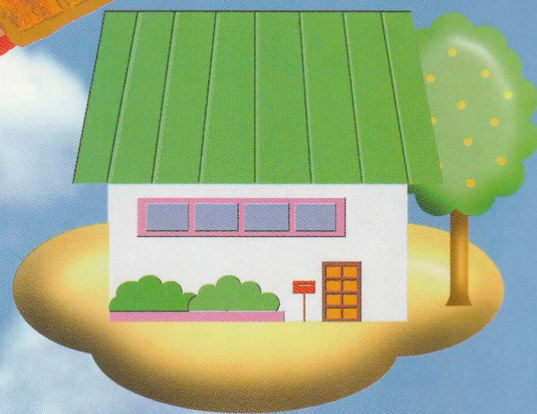


ヤドカリ君の やさしい住まいさがし

「木造バリアフリー住宅」をノックする



もくじ

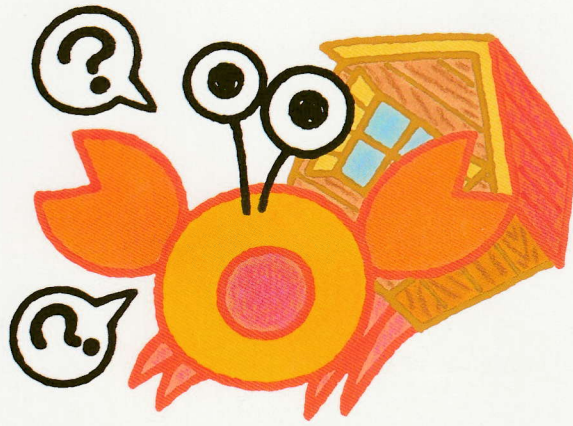
SEARCH① バリアの背景をさぐる

SEARCH② 快適を科学する

SEARCH③ バリアフリーの住まいづくり

最近、よく耳にする「バリアフリー住宅」って何だろっ？

ボク、ヤドカリのチヨッキン。少々古くなった貝からハウスを捨てて、もっと快適な住まいに移ろうと思ってるんだけど、「それならバリアフリー住宅が住みやすいよ」って、仲間が口を揃えて言うんだ。それはどんな住まいなの？ 一体どんな基準でさがしたらいいのか。



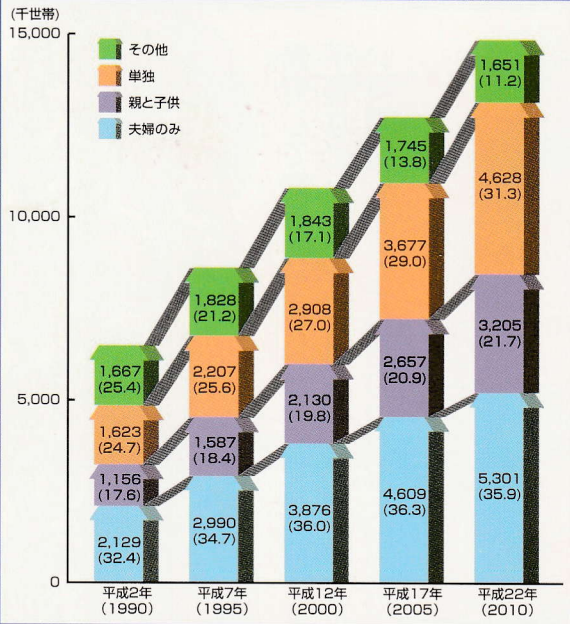
生活する上で、障害（バリア）がない（フリー）。それが、バリアフリー住宅。

最近、住宅の新聞広告やチラシの紙面に、「バリアフリー住宅」という言葉が目立つようになりました。「加齢対応住宅」、「生涯住宅」といった呼び方もありますが、バリアフリーとは読んで字のごとく障害（バリア）がない（フリー）こと。つまり、安全で、負担がかからずに生活ができるように、設計や施工面に配慮を加えた住宅であると言えます。

一見、便利で快適に見える現代の住まいも、実際に暮らしてみると意外に不便な所が多いのに気がきます。床の段差に「つますいたり、階段が急で上りにくかったり、浴槽が深すぎて出入りするの」に「苦勞したり...」。高齢者なら、さらに負担が大きくなります。また、年齢に関係なく、風邪などで体調が優れない時や、妊娠時期やその後の子育てなどを考えると、日常生活のネックとなる部分を住まいからなくしていきたいですね。なぜ今、バリアフリー住宅が注目を集めているのか、それは今までの住まいとどこが違うのかこれから一緒に考えていきましょう。



高齢世帯（65歳以上）の家族類型別の将来推計



資料：厚生省国立社会保障・人口問題研究所「日本の世帯数の将来推計」（平成5年10月推計）
 ※（ ）内の数字は高齢世帯総数に占める割合（%）

訪れる長寿社会、在宅介護の問題。バリアフリーはこれからの社会に対応します。

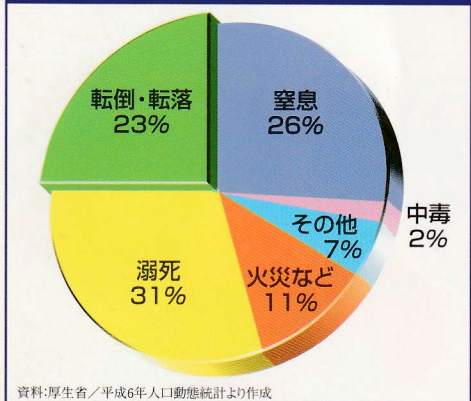
バリアフリー住宅がクローズアップされてきた大きな理由として、長寿社会の到来があげられます。皆さんもご存知のように、平均寿命の伸びと少子化の波を受け、日本の高齢化は急速に進み、21世紀の半ばには国民の3人に1人が65歳以上の高齢者に…。そんな中で不安に思うのは、やっぱり介護の問題。長寿社会では介護を必要とする人が増えるのはもちろん、その期間も当然長くなるからです。

国も、高齢者を社会的に支える仕組みづくりとして、平成12年度より介護保険制度をスタートさせますが、その大きな柱となるのが在宅介護への援助。今や、住まいには介護の場としての機能が求められつつあるんですね。高齢者が自立した生活ができ、援助者も介護しやすい住まいは、充実したシルバーライフを送るために不可欠なもの。かといってバリアフリー住宅は何も高齢者のためだけの住宅ではありません。シルバー世代が安心して暮らせる住まいは、年齢にかかわらず、すべての人に理想の住まいであるとも言えるからです。

訪れる長寿社会、在宅介護の問題。バリアフリーはこれからの社会に対応します。

意外にも、住まいには多くの危険がひそんでいるのですね。

家庭内における高齢者（65歳以上）の不慮による事故死の種類別割合



資料：厚生省／平成6年人口動態統計より作成

一時期、交通戦争という言葉まで生まれ、社会問題化した交通事故。しかし、意外に知られていない数字ですが、家庭内での事故死者数も年間7000人を超え、交通事故死者数を上回る数にのぼっているのです。その中で65歳以上の高齢者が70%近くを占め、心身の衰えが悲しい事故の原因に結びついていると考えられます。住まいを建てる年代は40歳代が多く、自分が高齢期を迎えた時のことを想定しにくいものですが、人は必ず歳をとるもの。一生という長いスパンで住まいづくりを考え、日常生活にひそむ危険を排除することが大切です。

また、あらかじめバリアフリーへの配慮がなされていけば、後で、増改築する必要がでてきても、費用が節減でき、また将来、自分が介護される立場になっても、家族の精神的、肉体的な負担も軽くなります。住まいの主役は本来、人。その大切な前提が、住宅建設の工業化、効率化の中で、忘れられてきたのかも知れません。そして、本当に人へのやさしさを考えたなら、心と身体、二つのバリア（障害）が見えてきます。私たちが精神的にも、肉体的にも、イキイキと暮らせてこそ初めて、真のバリアフリー住宅と呼べるからです。

バリアフリー住宅に対する公的融資制度の概要

1. 住宅金融公庫

●金利の優遇（基準金利の適用）
 バリアフリータイプ（高齢者に配慮した住宅）の基準を満たす住宅には、最優遇金利である基準金利が適用されます。（平成10年10月以降はプラスして耐久性タイプの基準も満たすことが必要）

●割増融資
 長寿社会に対応する住宅工事や、高齢者のための設備設置を行う場合には割増融資が受けられます。（平成10年10月以降は高齢者等同居住宅工事が廃止）

種類	要件	割増額(万円)
長寿社会対応住宅工事	床段差の解消 十分な通路幅の確保 段階への配慮 段差、浴室への手すり設置等	150
高齢者等対応設備設置工事	次のア～ウのいずれかを実施 ア ホームエレベーター イ 移動用リフト対応 ウ 車椅子対応キッチン等 エ 火災警報器 オ スプリンクラー等 カ 階段昇降機	100
高齢者等同居住宅工事	住宅用面積が125㎡を超え、長寿社会対応住宅工事の実施し、次のア～ウのいずれかに該当 ア 一定の高齢者と同居 イ 一定の障害者と同居 ウ 直系親族の二世帯と同居し、4以上の居住室 2以上の専任及び合所 1以上の浴室を有する住宅	450

※問い合わせ先／住宅金融公庫業務取扱金融機関

2. 年金住宅融資

●バリアフリー住宅資金融資制度
 厚生年金保険、国民年金の加入期間が3年以上ある方が融資対象となります。

●要件別割増融資
 高齢者同居（厚生年金300万円・国民年金150万円）、二世帯住宅（厚生年金300万円・国民年金150万円）、介護機器設置（厚生年金100万円・国民年金50万円）など、一定の要件を満たす場合には、割増融資が受けられます。

3. 静岡県個人住宅建設資金

●割増融資
 県内に自ら住むための住宅を住宅金融公庫の融資を利用して、建設、購入、増改築を行う方を対象とした融資で、高齢者・身体障害者等仕様住宅工事の融資割増があります。

種類	要件	融資内容
高齢者・身体障害者等仕様住宅工事	高齢者・身体障害者の生活の利便が確保できる構造・仕様等をあらかじめ備えた住宅	割増額100万円 (金利は本体工事の場合と同じ)

※問い合わせ先／静岡県住宅課 (TEL.054-221-3019)

4. 静岡県高齢者住宅整備資金

●住宅資金融資
 静岡県に1年以上住所を有し、60歳以上の高齢者と同居しているか、同居しようとする方で、自己資金によることが困難な方が対象となります。

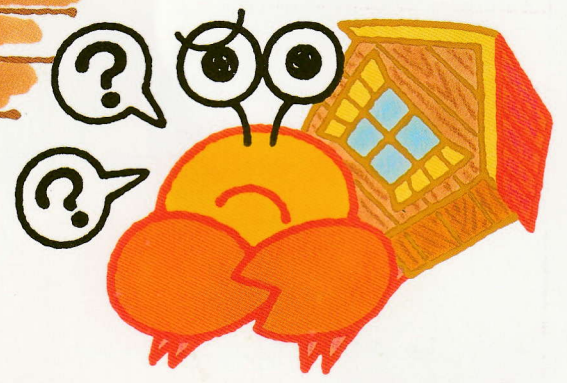
要件	貸付内容
新築にあわせて高齢者の専用居室の整備及び増改築、また風呂、トイレ等住宅全般を高齢者が住みやすいように改造しようとする工事。 (申込み) 毎年7月下旬までに市町村社会福祉協議会へ。	貸付限度額 420万円

※問い合わせ先／各市町村社会福祉協議会・県老人クラブ連合会 (TEL.054-254-5225)



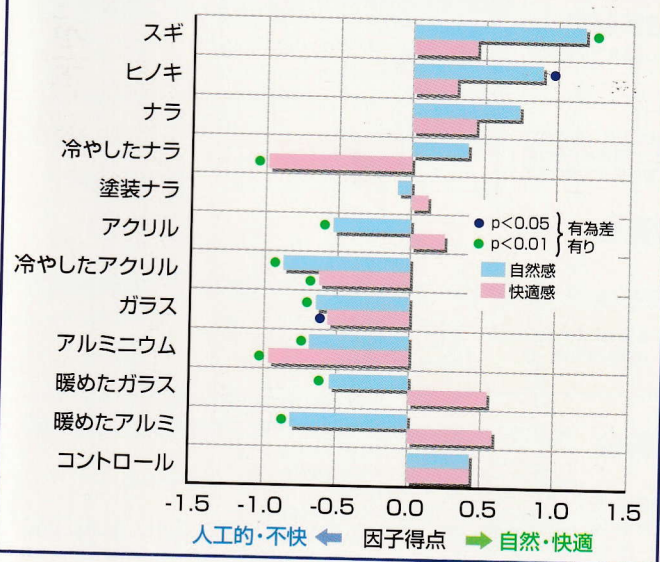
ストレスという心の
バリア(障害)は
どうして生まれるの？

苦勞して素敵な貝からハウスを見つけても、住んでみると不快なことだつてある。ポクラの心つて不思議だね。住まいは外見じゃなくて、その中身が大切なのかな？



まず、材料の快適感ですが、暖めた材料が快適と感じられた中で、ナラ、スギ、ヒノキなど、木材だけは暖めなくても快適であると感じられました。また、材料の自然感でも、木材は自然な、他の材料は人工的な印象を与えることがわかりました。さらにガラスやアルミニウムは暖めても人工的でしたが、木材はたとえ冷やしても自然感が消えませんでした。私たちが天然木材の床の上を素足で歩く、気持ち良いのは、肌触りで自然感や快適感を感じ、心身がリラックスするためだったのですね。

各種材料の印象



触覚と木

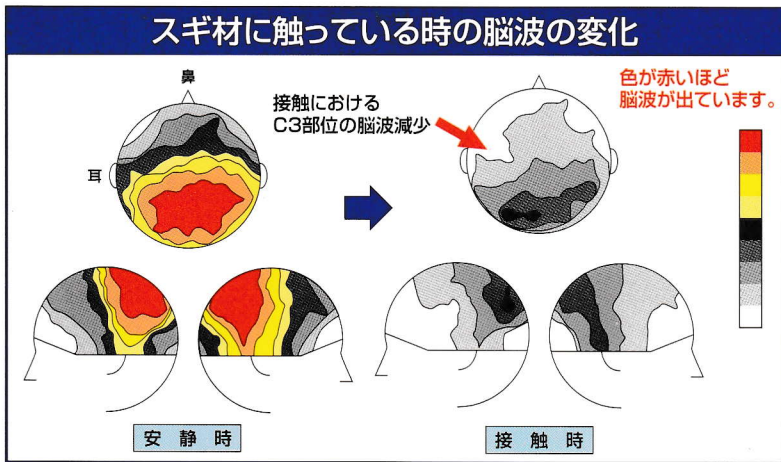
自然さ、快適さ。
木と人肌は、
良い相性。

無機質な素材である金属や人工的に合成されたプラスチックなどに比べて、自然素材である木材にやすらぎを感じる人は多いでしょう。しかし残念ながら、今までその理由を科学的に解明する実験データは少なかつたといえます。そんな中で平成8年〜9年にかけて、静岡工業技術センターが興味深い実験を行いました。木材を見たり触ったりすることで、人体がどんな反応を示すのかを多角的に調査したのです。まず、いろんな材料に触った時の印象を官能評価により測定。男子大学生15名にナラ、スギ、ヒノキなどの木材や、

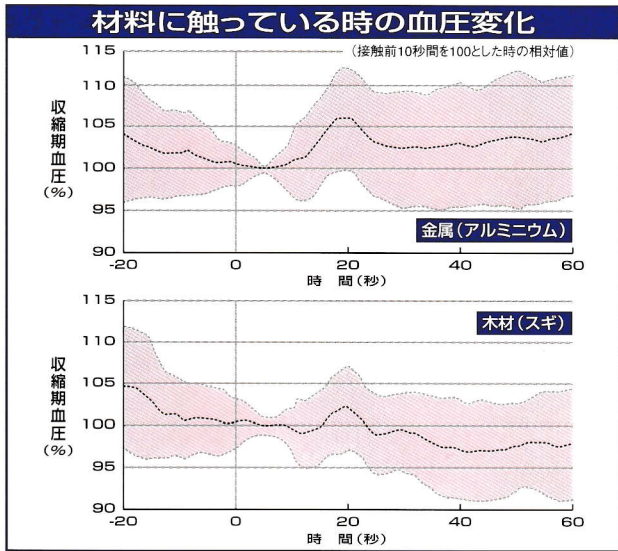


人体と木

脳波(α波)や
血圧の変化から、
木のやすらぎ効果を実証。



木材に触っている時、脳波はどんな変化を示すのでしょうか？ 静岡工業技術センターの実験によると右手でスギ材に触った時、脳の左の中心あたり(C3部位)で脳が活動し、α波という脳波が減少します。これは、手の平で受けた刺激に脳が反応したためであり、接触から10秒間だけα波が減少するガラスやアルミニウムなどとは違い、スギやナラ材は触っている間じゅうα波が減少しやすい傾向にありました。脳の安静時に増大するα波が減少を示すということは、脳が活性化している証拠であり、木の自然感や快適感を感じとって働いているのです。



さらに、各材料に触っている時の血圧の変化を調べたところ、徐々に血圧が上昇する金属(アルミニウム)とは逆に、木材(スギ)は徐々に血圧が下がることになりました。血圧が上昇するのはストレスを感じる交感神経に作用したためであり、心拍数の増大や瞳孔拡大などが見られます。一方、血圧が下がるのは、リラックスを感じる副交感神経に作用したからであり、体は落ち着いた状態となります。この実験データにより、人が木に触った時にやすらぎを覚える理由のいくつかが解明されたのです。



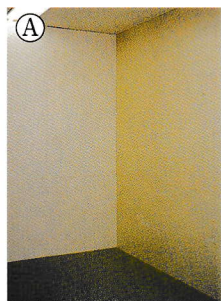
視覚と木

木の居住空間は、
人の暮らしに
ゆとりとやすらぎを与えます。

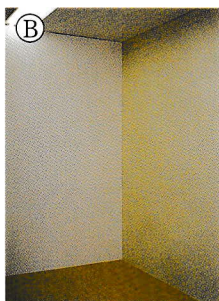


多くの時間を室内で過ごす私たち。最後に室内に木を用いることで、人はどんな視覚的な刺激を受けるのかを調べたデータをご紹介します。静岡工業技術センターでは、(A)内装全面が非木質系材料、(B)床のみ木質材料、(C)床と腰壁が木質材料、(D)天井を除く全面が木質材料の4枚の室内写真を評価サンプルとし、200人を対象に面接によるイメージ調査を行いました。その結果、木質空間は「くつろぐ」「寝ころぶ」「眠る」といった静的な欲求が強くあらわれましたが、木の使用が少なくなるにつれて、「運動する」「仕事をしたい」といった動的欲求が強くなりました。しかし、木が全く使われていない空間では、いずれの欲求も弱くなり、居住空間としてあまり好まれていないことがわかりました。

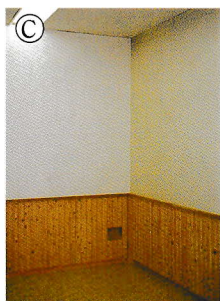
この結果からも、自然な木目模様と暖色系の温かな色合いをもつ木を内装材として適度に活用することで、暮らしにゆとりとやすらぎが生まれることがわかりました。さらに、木の効力は視覚面だけでなくとどまりません。室内の湿度を一定に保つ調湿作用、バランスのとれた音響効果、清々しい香り。木はまさに、オールマイティーな快適素材なのです。



■ 内装全面が非木質系材料



■ 床のみ木質材料



■ 床と腰壁が木質材料



■ 天井を除く全面が木質材料

浴室

- 介助入浴ができるように十分な広さをとる。
- 手すりを設置する。
- 浴槽は入浴しやすい大きさと深さのものとし、出入りの楽な縁の高さとする。
- 転倒を考慮してガラス材の使用を避ける。
- 床は滑りにくい材料とする。

木材活用アドバイス

檜や樟(まき)などの浴槽は保温性もあり、木の触感や香りも格別。また、壁に木材を張りめぐらせば、調湿作用で防カビ効果がある。



SEARCH③

バリアフリーの 住まいづくり

天然木材を活用して、 いきいきライフ。

天然木材には、調湿作用、殺菌作用、衝撃緩和作用、断熱作用、吸音作用、紫外線吸収作用など、優れた機能が備わっています。これらは、心と身体の両面から、住まいの快適性や安全性をさらに高めてくれるものであり、木をバリアフリー素材として用途に合わせて活用することを薦めます。心身に働く木材の良さを、これからも住まいづくりに積極的に取り入れていきたいですね。

キッチン

- コンロ、給水設備などは操作しやすいものとする。
- 椅子に腰かけて作業する場合、調理台の高さや収納棚の位置などに配慮する。
- 食器棚の引き手は握りやすく、開閉操作のしやすいものとする。
- ガス器具は立ち消え安全装置付きとし、ガス漏れ検知器、火災警報器を設置。

木材活用アドバイス

家族団らんの場となる食卓に、天然木材のやさしさを。調湿・殺菌・吸音・芳香作用や、心やすらぐ素材感で、温もりある空間が生まれる。



リビング

- 出入口の段差をなくす。
- 操作の簡単なエアコンを取り付ける。
- 立ち座りは、椅子の方が容易に行える。

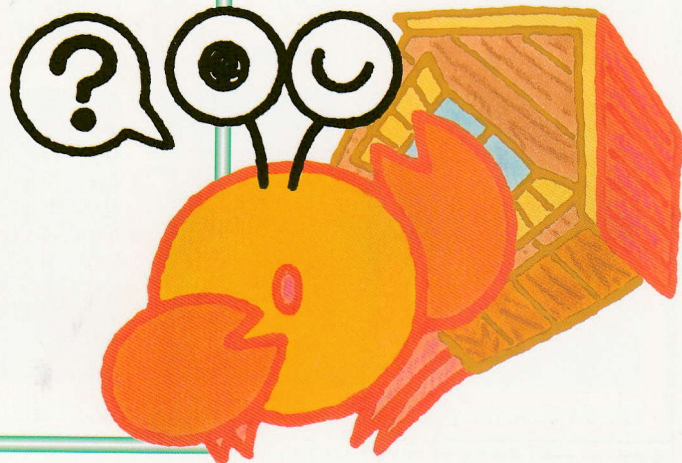


木材活用アドバイス

床や壁の内装に杉、檜などを活用すれば、調湿・殺菌・吸音・芳香作用、ダニの除去など、健康面にプラス。

からだ
身体のバリア(障害)は、どこで発生して、
どんな配慮で防いだらいいの?!

心理面のバリアに加えて、考えなければならぬのがからだのバリアだね。今住まいの中で、どんな部分が日常生活の妨げとなっているのかな? 新しい貝からハウスさがしのもう一つの基準である、身体面のバリアフリー対策について教えてよ。





アプローチ

- 道路から玄関までのアプローチは、ゆるやかなスロープにした方が、将来、杖や車椅子などの歩行補助具を使う場合に安心。
- 階段にする場合は、踏み面の大きいなららかな階段にして、手すりをつける。
- 床仕上げは水に濡れても滑りにくい材料にする。

木材活用アドバイス

防腐加工を施した木製スロープを設置すれば、万が一の転倒にも緩和性がある。

玄関

- 上がり框（かまち）の段差を少なくする。
- 手すりを設置すれば立ち座りに便利。

木材活用アドバイス

杉、檜など、天然木材の下駄箱は、靴から出る湿気を吸収し、カビを防ぐ。



廊下

- 通路幅をできるだけ広くとる。
（将来、車椅子を使うことを考えると85cm以上が安心）
- 手すりを取り付けられるように下地を補強しておく。
- 夜間用のフットライト（足元灯）を設置する。

木材活用アドバイス

杉、檜、米松などの床材は、適度な硬さで歩きやすく、転んだ時の衝撃も緩和。



トイレ

- 夜間の使用を考えて、寝室に近接させる。
- 介助を考えて広めのスペースを確保する。
- 入り口の段差をなくし、ドアは外開きか引き戸とする。
- 和式より、洋式トイレの方が足腰に負担がかからない。
- 錠は緊急の際に、外から開錠できるものとする。
- 暖房設備を取り付けることが望ましい。

木材活用アドバイス

狭く密閉性の高いトイレの内装は、化学物質放散の不安が残るビニルクロスより、天然木材の方が安心。

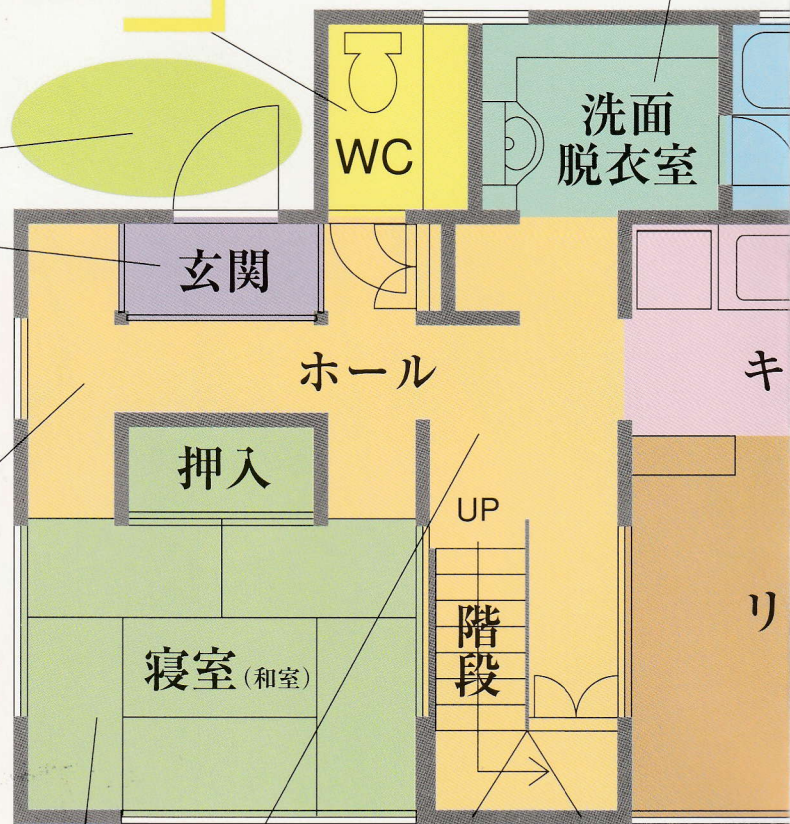


洗面・脱衣室

- 洗面や衣服の着脱のためのスペースを充分にとる。（椅子に腰かけて用を足せる広さが望ましい）
- 浴室との段差をなくす。
- 暖房設備を取り付けることが望ましい。

木材活用アドバイス

湿りがちな洗面・脱衣室の内装に天然木材を活用すれば、湿気を吸収し、森林浴気分も楽しめる。



住まい全般

- 居間、食堂、バスルーム、トイレ、寝室など、日常生活に必要な空間は同一階に設ける。
- 床はすべりにくく、転んでも安全な材料とする。
- 介護が必要になった時のことを考えて、部屋の出入口は広くとる。
- ドア類は開閉のしやすいものを選び、スイッチ、コンセント類は使いやすい位置に設置する。
- どの空間も充分な明るさを確保する。

木材活用アドバイス

杉、檜、米松など、木の床材は調湿作用があり、床下や基礎コンクリートの湿気も吸収。無塗装のものは滑りにくく、転んだ時の衝撃も緩和。





暮らしイキイキ、けん木れん。

けん木れん

静岡県木材協同組合連合会

〒420-8601 静岡市追手町9番6号 県庁西館9階
TEL. 054-252-3168 FAX. 054-251-3483

制作協力 静岡県静岡工業技術センター/地域産業技術部



※本資料の無断転載を禁じます。